

■子吉川「大規模氾濫時の減災対策協議会」取組方針一覧

黒文字：従来のメニュー項目
赤文字：新規追加となるメニュー項目

資料-4

ID	緊急行動計画の項目	体制	適用	由利本荘市	県	気象台	東北地整	状況	R1												R2											
									4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A-1-1	大規模氾濫減災協議会等の設置 ICT等を活用した洪水情報の提供(1/3)	各地域で発生する災害の状況や高齢者の被災リスク等を踏まえ、協議会の構成員に福祉部局の追加することについて検討を行う。 大規模氾濫減災協議会にメディア連携分科会を設置するなど、メディア連携のための協議会を設け、地域の取り組みを推進する。 協議会等の場を活用して取組内容等についてホームページ等で公表する。	福祉部局の参画について調整中。 第1回秋田地域メディア連携協議会を実施。(R1.7/5) 国については実施済み。協議会への同意を得て、国と由利本荘市の両方で公表する。(R1.7/9ヒアリングにて了承)	○	○	○	○	目 標 実 績	調整中												継続											
									7/5実施												継続											
									継続												継続											

■ハード対策

ID	緊急行動計画の項目	①洪水を安全に流すためのハード対策		適用、確認事項等	由利本荘市	県	気象台	東北地整	状況	R1												R2											
		具体なとりくみ								4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
H-1-1	堤防等河川管理施設の整備(洪水氾濫を未然に防ぐ対策)	堤防整備【子吉川】						○	目 標 実 績	継続												継続											
		河道掘削【子吉川】						○	目 標 実 績	継続												継続											

ID	緊急行動計画の項目	②危機管理型ハード対策		適用、確認事項等	由利本荘市	県	気象台	東北地整	状況	R1												R2											
		具体なとりくみ								4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
H-2-1	決壊までの時間を少しでも引き延ばす堤防構造の工夫(危機管理型ハード対策)	堤防裏法戻の補強【子吉川】						○	目 標 実 績	継続												継続											
H-2-2	河川防災ステーションの整備	子吉川防災ステーションについて、由利本荘市の円滑な水防活動等に資する活用方を検討調整	防災ステーションは整備済み。	○				○	目 標 実 績	施工中												継続											
H-2-3	早期復興を支援する事前の準備 多数の家屋や重要施設等の保全対策	全天候型ドローンの配備 陸上水中レーザードローンの配備	全天候型ドローンについてはR1年度内に配備予定。					○	目 標 実 績	継続												継続											
		2020年度までに、堤防決壊が発生した場合に浸水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間において、堤防強化対策等を概成	防災、減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策により、令和2年度(2020)までに、堤防裏法戻補強対策を行う。					○	目 標 実 績	継続												継続											
H-2-4	排水設備の耐水性の強化	2020年度までに、氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消	防災、減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策により、令和2年度(2020)までに、河道掘削・樹木伐採を行う。					○	目 標 実 績	継続												継続											
		2020年度までに、浸水による機能停止リスクが高い排水機場について、排水機能停止リスク低減策を概ね完了	施設の耐水化については、今後調査・検討する。					○	目 標 実 績	継続												継続											

ID	緊急行動計画の項目	③避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		適用、確認事項等	由利本荘市	県	気象台	東北地整	状況	R1												R2											
		具体なとりくみ								4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
H-3-1	洪水予測や水位情報の提供の強化	避難行動の目安となる簡易水位計の整備	H30年度6箇所設置済み。R1年度中に5箇所設置予定。					○	目 標 実 績	5箇所設置予定												継続											
		2018年の緊急点検を踏まえ、2018年度までに、浸水や停電により連続的な観測監視ができなくなる恐れのある水文観測所において、浸水停電を実施	R1実施中					○	目 標 実 績	実施中												継続											
		72時間以上非常用電源が確保されていない特に重要な既存河川監視カメラ(公開、夜間監視が可能)の対策を順次実施	R1実施中					○	目 標 実 績	実施中												継続											
		リアリティーのある河川の状況を住民一人一人に伝達するため、簡易型河川監視カメラ等を活用し、画像映像による災害情報の積極的な配信	R1年度中に7箇所設置予定。					○	目 標 実 績	7基設置予定												継続											
		河川監視用カメラ配置計画を検討調整し、順次整備を実施	必要に応じて配置計画について検討を行う。					○	目 標 実 績	継続												継続											

■ソフト対策

ID	緊急行動計画の項目	①適切に情報を収集し、わかりやすい情報を、速やかに伝える取組		適用、確認事項等	由利本荘市	県	気象台	東北地整	状況	R1												R2												
		具体なとりくみ								4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
S-1-1	ICT等を活用した洪水情報の提供(2/3)	河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をWEBや報道機関を通じて伝達			○	○	○	○	目 標 実 績	継続												継続												
		浸水想定区域図、ハザードマップ、避難情報(避難勧告・避難所情報)を共有			○	○	○	○	目 標 実 績	継続												継続												
		スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の情報発信	緊急通報メールのプッシュ型配信開始(H30.5.1)			○	○	○	○	目 標 実 績	5/1運用開始												継続											
		防災情報、水害リスクの認知度に関する実態把握と伝達手法・啓発活動等の検討・実施				○	○	○	○	目 標 実 績	継続												継続											
		水害リスクの高い区間における住民が参加する共同点検の実施	重要水防箇所の合同巡視を実施。(R1.7/10)			○	○		○	目 標 実 績	7/10実施												継続											
		気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のしやすさをサポート)	5月17日より運用を開始。					○	△	目 標 実 績	5/17運用開始												継続											
S-1-2	ハザードマップの改良、周知、活用	想定最大規模の洪水での浸水想定区域図・時系列洪水氾濫シミュレーション、避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知	直轄区間の浸水想定区域図については公表済み。 ハザードマップは、R2年度に公表予定。(7/9ヒアリング)		○			○	目 標 実 績	継続												継続												
		水害ハザードマップの作成、周知及び訓練等への活用に関する優良事例を収集し、由利本荘市に提供	今後取り組む。		△			○	目 標 実 績	継続												継続												
		ハザードマップ作成や住民説明等に関する由利本荘市の取組に対して専門家による支援を実施	国土交通省の防災エキスパートを専門家とする支援について取組む。		△			○	目 標 実 績	継続												継続												
		要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施	作成状況:59/69 訓練状況:2/59 今後の作成支援は、相対で推進する。(7/9ヒアリング) 訓練報告については確認中。(7/9ヒアリング)		○				目 標 実 績	継続												継続												
S-1-3	避難確保計画の作成状況、避難訓練の実施状況については、毎年、協議会等の場において進捗状況を確認	4月の幹事会、協議会にて確認実施済み。今後も確認していく。		○	○	○	○	目 標 実 績	4/15幹事会、4/25協議会												継続													
S-1-4	災害リスクの現地表示	まるごとまちごとハザードマップの実施の効果や有効性について、協議会等の場を活用し共有を回り、現地表示の拡大を促進	今後取り組む。(7/9ヒアリング)		○		○	目 標 実 績	継続												継続													
S-1-5	防災施設の機能に関する情報提供の充実	堤防等の機能や避難の必要性等に関する流域住民等へ周知	R1:今年度は、地域からの要望を確認しながら対応する。 R2:HM公表後に、国と協力して説明を実施する。(7/9ヒアリング)		○		○	目 標 実 績	継続												継続													
S-1-6	浸水実績の周知(指定区間)	手川の指定区間に関する浸水実績について共有する。	協議会の場で共有する。			○		目 標 実 績	継続												継続													

ID	緊急行動計画の項目	②判断・行動の遅れによる被災を防ぐための迅速・確実な避難行動を促す取組	適用、確認事項等	由利本荘市	県	気象台	東北地整	状況	R1												R2											
									4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
S-2-1	ダム放流情報を活用した避難体系の確立	避難行動に繋がるダムの放流情報の内容や通知タイミングの改善、河川水位情報等の活用に取組む	【8月20日幹事会協議結果を受けて】 芋川の犬内ダムを対象として取り組む。	○	○			目標 実績	継続																							
S-2-2	洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	構築済み。	○	○		○	目標 実績	継続																							
		ダム放流情報を活用した避難体系の確立	大内ダムによる避難行動に繋がるダム放流情報の検討(8/20幹事会)	○	○			目標 実績	継続																							
S-2-3	避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認(タイムライン)	由利本荘市の避難勧告に着目した事前防災行動計画(タイムライン)を作成・運用	作成済み。(H28.3作成)。令和1年度はタイムラインを活用した情報伝達演習も行い、本荘第一病院では受け取った情報に基づき、独自に院内演習も実施。	○	○	○	○	目標 実績	継続																							
		水害対応タイムラインを活用した避難訓練等を毎年実施し、明らかになった課題等を踏まえ、避難勧告の発令基準や水害対応タイムライン等を適宜、見直し	今年の洪水対応演習を参加して手順などを職員が理解するのに非常に役立つものであった。これからは、毎年実施したい。(7/9ヒアリング)	○	○	○	○	目標 実績	5/10	演習											継続											
S-2-4	多機関連携型タイムラインの拡充	子吉川タイムラインと連携した避難確保計画の取組(防災体制質の品質向上)	避難確保計画の品質向上のための分析に着手する。(7/9ヒアリング)	○			○	目標 実績	継続																							
		福祉部局との連携を踏まえた水害対応タイムラインに更新	福祉部局の参画について調整中。	○	○		○	目標 実績	R1年度中に福祉部局を参入																							
S-2-5	危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理	警戒レベルを踏まえた、トリガー情報の明確化と洪水情報のプッシュ型配信	既に警戒レベルに対応済み。避難情報の伝達マニュアルの更新については、次の地域防災計画の改定の際に考慮する。(7/9ヒアリング)	○	○	○	○	目標 実績	5/29	改定											継続											
S-2-6	IoT等を活用した洪水情報の提供(3/3)	注意報・警報・洪水予報・避難勧告等を発表し、気象庁HP・関係自治体・報道機関・情報伝達装置により住民へ伝達	5/22 Lアラート配信訓練(県・市)を実施。	○	○	○	○	目標 実績	5/22	実施											継続											
		市職員、消防団員、消防署員、警察官、自主防災組織等が連携した、避難誘導	風水害時の避難行動要支援者名簿の活用等については継続して取り組む。(7/9ヒアリング)	○				目標 実績	継続																							
		自主防災組織毎の避難マップ、避難行動要支援者避難支援プラン、個別避難計画の作成支援	避難マップについての作成は、僅かである。名簿の活用について進んでいない。(7/9ヒアリング)	○				目標 実績	継続																							
S-2-7	・避難訓練への地域住民の参加促進	タイムラインを活用したリアリティのある防災訓練の実施	5月の訓練は、全体の流れを確認することができた点よかった。(7/9ヒアリング)	○	○	○	○	目標 実績	5/10	演習											継続											
		住民向けのわかりやすいタイムラインの作成・周知	マイタイムラインについては、地区ごとに違うものを作成する必要があるため、そこまで時間をかけることができない。(7/9ヒアリング)	○	○	○	○	目標 実績	継続																							
		関係機関が連携して、避難情報、河川の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練の実施状況、工夫、今後の予定を共有	協議会・幹事会を通じて予定を共有する。	○	○	○	○	目標 実績	4/15	幹事会・4/24協議会											継続											

ID	緊急行動計画の項目	③住民の暮らしと生命を守るための現場での取組および住民自らが行う取組	適用、確認事項等	由利本荘市	県	気象台	東北地整	状況	R1												R2											
									4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
S-3-1	重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	直轄管理区間の重要水防箇所や水防資機材について合同点検(水防に係わる建設事業者を含む)出水時の水防団・河川管理者による河川巡視	重要水防箇所の合同巡視を実施。(R1.7/10)	○	○		○	目標 実績	7/10												7/10											
		直轄管理区間と堤防が連続している県管理区間の重要水防箇所の合同巡視の実施	重要水防箇所の合同巡視を実施。(R1.7/10)	○	○		○	目標 実績	7/10												7/10											
		水防資機材の備蓄・管理・点検(「水防月間の実施」)	由利本荘市水防訓練を実施。(R1.6/9)	○	○		○	目標 実績	6/9	実施											6/9											
S-3-2	水防訓練の充実	水防団の水防訓練、各機関の水防工法講習会の実施 多様な関係機関、住民等の参加により、より実践的な水防訓練となるよう、訓練内容について近年の水害を踏まえ検討、調整を行う	由利本荘市水防訓練を実施。(R1.6/9) 今後検討する。	○	○	○	○	目標 実績	6/9	実施											6/9											
S-3-3	排水施設、排水資機材の運用方法の改善	排水施設・排水資機材の保守点検・訓練・教育 災害発生時の出動体制確保	排水ポンプ車講習会を実施。(R1.6/11)				○	目標 実績	6/11	実施											6/11											
		作成済みの排水作業準備計画の代表的な事例について、協議会等の場において共有	昨年度に引き続き継続して取り組んで行く。				○	目標 実績	継続																							
		2020年度までに、長期にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水作業準備計画を作成					○	目標 実績	継続																							
S-3-4	水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	水防団員の募集、自主防災組織の結成、組織行動の支援に関わる広報を検討・実施	既に実施済み(インセンティブにも取り組んでいる。)(7/9ヒアリング) 少子高齢化による担い手不足が課題である。(7/9ヒアリング)	○	○		○	目標 実績	継続																							
S-3-5	水防関係者間での連携、協力に関する検討	大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう、必要に応じて関係者の協力内容等について検討・調整し改善を図る	検討・調整し改善を図っていく。	○	○		○	目標 実績	継続																							
		大規模氾濫を想定した排水施設・排水資機材の運用等の計画の検討	子吉川では24時間未満で排水を行うことが可能であり、排水ポンプ車等の配置について現段階では予定はないが、今後必要に応じて行う。	○	○		○	目標 実績	継続																							
S-3-6	防災教育の促進	構成機関が連携した防災に関する啓発活動(防災教育)、避難訓練等の拡充 避難確保計画の作成、計画に基づく避難訓練及び避難訓練を通じた防災教育の実施に努めるよう、協議会等による支援体制を構築	R1年度については実施予定がない。(7/9ヒアリング) H30年度成果は、全ての学校と共有する予定。(7/9ヒアリング) 市で対象となる学校は4校。訓練の状況と課題については、今後確認しながら対応する。(7/9ヒアリング)	○	○	○	○	目標 実績	継続																							
S-3-7	地域防災力の向上のための人材育成	モデル地区を選定し、地域に精通し水害リスクに関する豊富な知見を有する専門家による支援方法について検討	防災リーダーの育成について実施中。(7/9ヒアリング) 来年度、防災リーダーに対する水防講習を希望。(7/9ヒアリング)	○			○	目標 実績	継続																							
		由利本荘市の取組を支援する専門家のリストを作成し、要請に応じ、専門家を派遣	専門家としては防災エキスパートなどを想定している。	○			○	目標 実績	継続																							
S-3-8	共助の仕組みの強化	「水防月間の実施」を通知	水防月間(5/1~31)について、関係機関へ通知	○			○	目標 実績	5/1	~30											5/1~30											
		自主防災組織、福祉関係者、水防団、水防協力団体等による避難時の声かけや避難誘導を含む訓練を実施	モデル地区で実施し、課題について共有する。(7/9ヒアリング) モデル地区については市が推薦する。(7/9ヒアリング)	○			○	目標 実績	継続																							
		由利本荘市健康福祉部地域包括支援センターにハザードマップの掲示や避難訓練のお知らせ等の防災関連のパンフレット等を設置	水防災啓発資料の設置について了解した。(7/9ヒアリング)	○	○		○	目標 実績	継続																							
S-3-9	市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	浸水想定区域内の市庁舎に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制について検討	水没する施設はいくつか考えられるので、被害を最小化する取組について今後確認する。(7/9ヒアリング)	○			○	目標 実績	継続																							
		市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	由利組合総合病院は、浸水区域外である。 重要施設の浸水の可能性についてはH30に検討済み(秋田川園)。 変電所の浸水について今後確認する。	○			○	目標 実績	継続																							